

埼玉県SDGs官民連携プラットフォームの取組について

県民や企業、NPO、大学、金融機関、各種団体など多様なプレイヤーとの協働を通じて、誰一人取り残さない「日本一暮らしやすい埼玉」の実現を目指す

企業・団体

取組へのサポートの充実

- ・情報交換会・交流会の開催(マッチング支援)
- ・県による企業・団体等のSDGsの取組の広報
- ・SDGsに取り組む企業・団体を登録する「埼玉県SDGsパートナー登録制度」

登録企業をより高いレベルへ

- ・高いレベルでサステナブル経営に取り組んでいる企業を認証する「埼玉県サステナブル企業認証制度」



埼玉県SDGs 官民連携 プラットフォーム

- ・官民連携の促進
- ・シンポジウム等の開催
- ・分科会による検討

県民レベルの参加促進

- ・県、企業等の協働による県民参加のイベント等の開催
- ・ポータルサイトでのSDGs情報の発信

県民

連携して全県展開

- ・先進的SDGs事業への支援
- ・市町村の取組の広報

市町村

部局横断で推進

- ・埼玉県SDGs庁内推進本部での展開

埼玉県

1 令和7年度の取組実績

1 会員数：2,516者（令和8年3月末時点）

2 シンポジウムの開催

日時 令和7年7月9日

内容 1 基調講演

講師：蟹江 憲史 氏（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 教授）

テーマ：SDGsは終わらない

2 トークセッション

蟹江 憲史 氏・県立浦和第一女子高等学校 生徒・国立筑波大学附属坂戸高等学校 生徒

3 パネルディスカッション

蟹江 憲史 氏

紺屋 健一 氏（独立行政法人国際協力機構 東京センター 所長）

村上 芽 氏（(株)日本総合研究所創発戦略センター チーフスペシャリスト）

今井 房子 氏（(株)コミュニティネット 代表取締役 埼玉県教育委員会委員）



参加者 177名（下記来場者からの声を抜粋）

- ・SDGsの次の方向性を知ることができ、大変有意義であった。
- ・未来を悲観しないという高校生の言葉が印象に残りました。大人が学ぶべき姿勢だと思いました。
- ・パネリストの方々のディスカッションをもっと聞いてみたかった。

1 令和7年度の取組実績

3 分科会成果報告会の実施

日時 令和8年2月13日（さいたま商工会議所・Teams配信）

- 内容
- 1 分科会成果報告
 - 2 知事講評
 - 3 分科会会員と知事との交流会

参加者数：171名（会場参加者：81名、オンライン参加者：90名）



4 メールマガジンを発行

- ・会員のSDGsに関する情報の周知、事務局からのお知らせ
- ・令和7年度実績：28回配信（R8.2末時点）

（配信記事例）

「東武動物公園でまなぶSDGzoo」（株式会社毎日新聞社）

「かすかべSDGsフォーラム2026」開催のお知らせ（春日部市）

埼玉県地球温暖化防止活動推進員の募集（認定特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉）

1 令和7年度の取組実績

5 会員と連携したイベントの開催

「埼玉SDGsフェア2026」

日時：令和8年1月17日・18日

場所：イオンモール浦和美園

参加者：682人（2日間）

出展者：12ブース

- ①味の素AGF株式会社
- ②株式会社さいたま資材
- ③株式会社GYXUS
- ④高安健一ゼミ（獨協大学経済学部）
- ⑤株式会社アイコム
- ⑥泰輝印刷株式会社
・明治安田生命保険相互会社
- ⑦浦和レッドダイヤモンドズ
- ⑧株式会社学研スタディエ
- ⑨埼玉りそな銀行
- ⑩ウェルビーイングを学ぶ学生達
- ⑪Marcato
- ⑫県立浦和第一女子高等学校



<ステージイベントの様子>



<各ブースでのワークショップ実施の様子>



1 令和7年度の取組実績

6 分科会の設置・運営

次の8つの分科会を設置・運営

- (1) 市町村分科会
- (2) 「埼玉の豊かな水とみどりを守り育む」分科会
 - ア 水辺空間の持続可能な環境課題解決に向けた検討部会
 - イ 都市公園の持続可能な利活用と環境保全に関する検討部会
- (3) 「未来を創る人材への投資」分科会
- (4) 「フードロス削減」分科会
- (5) 「サーキュラーエコノミー推進」分科会
- (6) 「カーボンニュートラル推進」分科会
- (7) 「ネイチャーポジティブ推進」分科会 <新>
- (8) 「水と人をつなぐ、水循環」分科会 <新>

1 令和7年度の取組実績

(1)市町村分科会

メンバー	実施内容及び検討内容
64者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県内外自治体の取組事例紹介及び情報共有 ○ 民間事業者と市町村との連携によるSDGsの取組紹介 ○ 県と市町村及び市町村同士の連携事業の検討・実施



第1回（令和7年5月8日開催）

<事例紹介>

- ・ 蓮田市立黒浜南小学校（SDGs教育の実践）
- ・ 千葉県市原市（先進的な取組）

第2回（令和7年12月22日開催）

<事例紹介>

- ・ 内閣府地方創生推進事務局（県外自治体の取組）
- ・ 鴻巣市、春日部市（各市の取組）
- ・ 獨協大学（草加市）（大学と自治体との連携）

1 令和7年度の取組実績

(2)「埼玉の豊かな水とみどりを守り育む」分科会

検討部会名	メンバー数	実施内容及び検討内容
水辺空間の持続可能な環境課題解決に向けた検討部会	7者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大森調節池周辺の自然環境の整備 ○ 市民団体・行政・企業によるヨシ刈りワークショップの実施
都市公園の持続可能な利活用と環境保全に関する検討部会	54者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 東武東上線ラッピングデザイン「クオッカトレイン」の運行（こども動物自然公園検討グループ） ○ 舟遊池の自然再生および七夕イベント、防災秋まつり等の開催（次世代につなぐ大宮公園検討グループ） ○ 食と農林業ドリームフェスタ・熊谷市産業祭への出展（熊谷スポーツ文化公園検討グループ）

<活動の様子>



大森調節池でのヨシ刈りワークショップ(入間市)



東武東上線ラッピングデザインクオッカトレイン出発式(東松山市・高坂駅)



大宮公園舟遊池の七夕イベント(さいたま市)



食と農林業ドリームフェスタ・熊谷市産業祭への出展(熊谷市)

1 令和7年度の取組実績

(3)「未来を創る人材への投資」分科会

メンバー	実施内容及び検討内容
8者	○ 浦和第一女子高等学校生徒による食品ロスに関する啓発活動・フードドライブの実施



<校内でのフードドライブの実施>

(4)「フードロス削減」分科会

メンバー	実施内容及び検討内容
26者	○ フードロス削減に関する啓発イベント及びワークショップの実施



<イベント出展による普及啓発>

(5)「サーキュラーエコノミー推進」分科会

メンバー	実施内容及び検討内容
401者	○ 会員による事例発表を通じた先進事例の共有 ○ 企業・行政・業界団体によるハブラシリサイクルの実施



実装内容：回収と教育の両輪

1. 回収BOX (Collection Box)

- 段階ボールBOXを使用 (組み立て・管理が容易)。
- 回収業者へそのまま引き渡し可能 (中身を触らず衛生的)。
- 子供たちの塗り絵を貼り付け、親しみやすさを演出。

2. 環境教育コンテンツ

《紙芝居》 《ダンス動画》

紙の機能や大切さを知り、使ったハブラシをリサイクルする意味を学ぶ。 紙芝居の内容を基に、正しい選別や身体の使い方を学ばせ、リサイクルに繋がる視点を楽しく身につける。

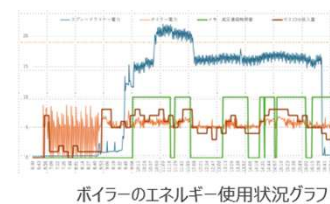
家族で取り組むハブラシリサイクル!

<総会の様子・ハブラシリサイクルの取組>

1 令和7年度の取組実績

(6)「カーボンニュートラル推進」分科会

メンバー	実施内容及び検討内容
46者	<ul style="list-style-type: none"> ○ セミナーや交流会を通じた先進事例の共有 ○ 会員によるカーボンフットプリントの算定及び省エネ診断の実施



<交流会の様子・省エネ診断の実施>

(7)「ネイチャーポジティブ推進」分科会

メンバー	実施内容及び検討内容
31者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 企業・市町村・団体による先進事例の共有及び交流会の開催 ○ 地域の生態系回復を目的とした緑地再生プロジェクトの始動



<キックオフイベントの開催・事業化に向けた意見交換会>

(8)「水と人をつなぐ、水循環」分科会

メンバー	実施内容及び検討内容
21者	<ul style="list-style-type: none"> ○ ダム等水源地における地域振興イベントの実施 ○ 「水と人をつなぐ、水循環」セミナーの開催



<セミナーの開催・ダム見学の実施>

2 令和8年度の取組予定

1 連絡会議(令和8年度活動計画)

開催時期：4月下旬～5月上旬

開催方法：説明動画及び資料をホームページ上に公開

概要：本プラットフォーム及び分科会・検討部会の活動計画を会員に対して説明

2 分科会の設置・運営

次の7つの分科会を設置し運営

- (1) 市町村分科会
- (2) 「埼玉の豊かな水とみどりを守り育む」分科会
- (3) 「未来を創る人材への投資」分科会
- (4) 「サーキュラーエコノミー推進」分科会
- (5) 「カーボンニュートラル推進」分科会
- (6) 「ネイチャーポジティブ推進」分科会
- (7) 「水と人をつなぐ、水循環」分科会

2 令和8年度の取組予定

3 分科会成果報告会

開催時期：2月上旬～中旬

開催方法：対面及びオンライン

概要：分科会・検討部会会員による1年間の成果報告

4 シンポジウムの開催

県内企業及び県民のSDGsへの理解を深めることを目的に講演会を開催（時期及び会場未定）

5 メールマガジンの発行（月3回程度）

会員のSDGsに関する情報の周知や事務局からのお知らせを発信

6 埼玉SDGsフェアの開催

会員と連携したSDGsイベントを開催

7 SDGsアクション推進プロジェクト及びポータルサイト構築

SDGs実現に向けて取り組む県民や県内企業・団体を増やす